

## タブレットの活用

今年度研究部会で、児童の対話的な活動(話し合い活動や意見発表の場面など)に ICT(タブレット)の活用をできないかと、提案しました。1人1台タブレットがありますので、できる限り有効な活用ができたと思っています。

### < 4年生・「たしかめながら話を聞こう」 >

先日4年生で「たしかめながら話を聞こう」という学習で、教材としては 聞く 教材ですが、『二年生と一緒にする遊びの提案』というテーマで児童一人一人が二年生と四年生と一緒に遊ぶことができる遊びを考え、タブレットにまとめ発表していました。

発表内容を整理するために、【・何の遊びか ・場所 ・ルール ・役割分担 ・(そして一番大切な)その遊びを選んだ理由】を考え、パワーポイントのシートを活用し発表できるようにまとめていました。児童は楽しく安全に二学年で遊ぶことができるように、可能な遊びをしっかりと理由を考え、選んでいました。4年生の児童はタブレットにまとめる作業はなれているので、すいすい作成していました。

	授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使っている。
	学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使っている。
	自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使っている。

(SE のアンケート項目より)



低学年と中学年が楽しめるように、ルールを考えまとめています。



『なぜ鬼ごっこにしたかという、ボールを使うドッジボールなどはボールの投げる強さが違いすぎるので、みんなが知っていてルールの簡単な鬼ごっこがいいと思いました。』

鬼ごっこを選んだ理由についてまとめ、確認しています。

『時間は10分。1人ねらいなし。  
はさみうちなし。』

ルールもシートにして表し、みんなで発表の練習、見せあいっこしています。

